

なわならではピラミッド世界大会 高さ1.18mで優勝

鹿角市の縄なうって55年の経歴 佐藤さん



わらで懸命に縄をなう参加者

わらで縄をなうって、その上げた高さを競う「なわな長さピラミッド型に積み」らではピラミッド世界大

会」が十三日、秋田市のシヨッピングセンターで開かれた。このユニークな大会は、秋田の稲作文化、秋田ならではの生活文化を伝承していくと、秋田の暮らしを楽しむ人々の集まり「秋田カエル村」が企画したもの。
県内各地から十一人が参加し、百分間、ごの上に乗って縄をなう。座り込んで縄をなう。現役で農業を営む人は、手際よく作業を進め、あっという間に高さ高く縄が積み上がった。中には縄をなうのは全く初めてという人も。初心者も手のひらに豆を作りながら懸命になわをなっていた。
優勝は鹿角市花輪、農業佐藤三さん(七〇)。佐藤さ

んのなった縄は長さ四三・四四、巻き上げた高さは一・一八mにもなった。十五の時から縄をなうている。こつは、慣れ。わらで縄をなう姿を、買い物客らは足を止めて懐かしそうに眺めていた。



○：西山北町の三ツ共和国秋田カエル村(佐々木正光代表)が昭和六十年から実施している。今回は縄なうの経験がある農家の人や、初体験の会社員など、公募で集まった十一人が出場。額に汗を浮かべ、手を真っ黒にしながら縄をなうた。
○：優勝したのは鹿角市花輪の農業佐藤三さん(七〇)。記録は長さ三三・三三。記録は長さ三三・三三。

みたりきいたり

○：百分の繩は長さ四三・四四、高さ四四限時間内に稲わらで一本の縄をなう。長さ二メートルに巻いた縄をピラミッドの高さを競う。「第八回なわならではピラミッド世界大会が十三日、秋田市御所野のイオンショッピングセンターで開かれた。写真。」

94.2.14 魁 夕刊